

Mizuho Daily Market Report

2023/11/2

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.38	150.95	▲0.73	+0.72
EUR	1.0563	1.0570	▲0.0005	+0.0004
AUD	0.6335	0.6393	+0.0056	+0.0084
SGD	1.3703	1.3681	▲0.0016	▲0.0026
CNY	7.3194	7.3160	▲0.0004	▲0.0012
MYR	4.7701	4.7717	+0.0085	▲0.0083
THB	36.28	36.23	+0.29	+0.04
IDR	15948	15935	+50	+65
PHP	56.82	56.73	+0.00	▲0.13
INR	83.28	83.29	+0.03	+0.10
VND	24579	24587	+22	+16

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.734%	▲19.7 bp	▲22.1 bp
日本(10年)	0.961%	+1.4 bp	+10.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.764%	▲4.2 bp	▲12.5 bp
オーストラリア(5年)	4.546%	+0.7 bp	+17.2 bp
シンガポール(5年)	3.303%	+1.9 bp	+2.5 bp
中国(5年)	2.539%	+0.1 bp	▲1.6 bp
マレーシア(5年)	3.849%	▲0.5 bp	+0.4 bp
タイ(5年)	2.894%	+0.5 bp	▲7.8 bp
インドネシア(5年)	7.000%	▲4.5 bp	▲12.6 bp
フィリピン(5年)	6.646%	+0.0 bp	+6.0 bp
インド(5年)	7.353%	+0.8 bp	+1.9 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,274.58	+0.7%	+0.7%
N225(日本)	31,601.65	+2.4%	+1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,091.71	+0.8%	+0.5%
ASX(オーストラリア)	3,967.55	+0.3%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,076.77	+0.3%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,023.08	+0.1%	+1.6%
KLSE(マレーシア)	63,591.33	▲0.4%	▲0.7%
SETI(タイ)	6,642.42	▲1.6%	▲2.8%
JKSE(インドネシア)	1,435.33	▲0.5%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	5,973.78	+0.0%	▲1.3%
SENSEX(インド)	1,379.96	▲0.1%	▲1.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,039.66	+1.1%	▲5.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.08	▲0.7%	▲1.4%
金	1,982.53	▲0.1%	+0.1%
原油(WTI)	80.44	▲0.7%	▲5.8%
銅	8,030.00	+0.0%	+0.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	149.80	—	151.50
EUR/USD	1.0470	—	1.0700
AUD/USD	0.6250	—	0.6460
USD/SGD	1.3600	—	1.3770
USD/CNY	7.2850	—	7.3280
USD/MYR	4.7120	—	4.8380
USD/THB	35.90	—	37.20
USD/IDR	15830	—	15970
USD/PHP	56.50	—	57.00
USD/INR	83.00	—	83.45
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は151円台半ばで取引を開始。神田財務官が介入を含めた為替対応について“スタンバイ”と発言したことを受け、151円台前半まで下落。公示仲値決定のタイミングにかけ151円台半ばまで値を戻したが、昼頃に神田財務官から再度けん制発言が出るると151円台前半まで反落。その後、計4,000億円の臨時オペの発表などあったが、ドル/円のトレンドを形成するには至らず欧州時間へ渡った。
アジア通貨は概ね軟調に推移。海外時間に予定されるFOMC会合を控える中、ややドル高で推移しアジア通貨は全般に対ドルで下落した。

海外市場のドル円は下落。欧州時間、FOMC会合を控え151円台前半で動意薄く推移し米州時間へ。米州時間朝方は米10月ADP雇用統計指数は予想を下回り、続いて発表された米9月JOLT求人数は予想を上回るも、特段材料視されず。しかし、米10月ISM製造業景況指数のヘッドラインが予想を下回り、構成項目の雇用と新規受注も悪化したことを受け米経済減速の思惑からドル売りが強まり150円台後半まで下落したが、売り一巡後は151円台前半まで戻す。米州時間午後は注目の米FOMCの結果が発表され、現行の政策金利維持が発表され、パウエルFRB議長の記者会見では今後の追加利上げの可能性を否定しなかったものの、「これまでの進展考慮し、FOMCは慎重に進んでいる」、「成長減速が必要になる可能性高いと今も考えている」等と伝わった。この結果を受け150円台後半下落しクローズ。

【金利】

米債利回りは前日比低下。FOMCを控える中、米州時間朝方から金利は低下。FOMC会合の結果を受け、利上げサイクル終了との思惑も見られる中、一段と低下した。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日FOMCの結果では、事前の予想通り政策金利の据え置きが決定されたが、その後のパウエル議長の会見において「慎重に進んでいる」とされたことが利上げサイクルの終了との思惑を喚起し米金利が低下。本日も米金利低下を受けたドル売りが優勢となりドル円は上値重く推移するものと予想。

【本日の予定】

(日本) 10月 マネーベース
(アジア) 10月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
(アジア) 10月 韓国 CPI
(アジア) 9月 豪 住宅ローン / 持家住宅ローン / 投資家ローン
(アジア) 9月 豪 貿易収支
(アジア) マレーシア 金融政策会合
(アジア) 休場 フィリピン
(欧州) 10月 ユーロ圏 製造業PMI(確)
(欧州) 10月 仏 製造業PMI(確)
(欧州) 10月 伊 製造業PMI
(欧州) 10月 愛 失業率
(欧州) 10月 独 失業者数 / 失業保険申請率
(欧州) 10月 独 製造業PMI(確)
(欧州) 10月 西 製造業PMI
(欧州) 9月 仏 財政収支
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 10月 チャレンジャー人員削減数
(米国) 3Q 非農業部門労働生産性(速) / 単位人件費(速)
(米国) 9月 製造業受注 / 耐久財受注(確)
(米国) 新規失業保険申請件数